【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成18年4月13日(2006.4.13)

【公開番号】特開2005-181934(P2005-181934A)
【公開日】平成17年7月7日(2005.7.7)
【年通号数】公開・登録公報2005-026
【出願番号】特願2003-426427(P2003-426427)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｇ　15/20　(2006.01)
Ｂ６５Ｈ　29/56　(2006.01)
Ｇ０３Ｇ　15/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｇ　15/20　１０６
Ｇ０３Ｇ　15/20　１０２
Ｇ０３Ｇ　15/20　１０３
Ｂ６５Ｈ　29/56
Ｇ０３Ｇ　15/00　５１８

【手続補正書】
【提出日】平成18年2月24日(2006.2.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
定着ニップ部を構成する加熱部と加圧部とを含み、未定着の現像剤が付着した記録材を前記定着ニップ部を通過させて加熱し加圧することにより、前記未定着の現像剤を前記記録材に定着させる定着装置において、
静電力を発生することにより現像剤が定着した記録材を前記加熱部から分離する静電吸引手段を備え、該静電吸引手段は前記加熱部に対向する位置に該加熱部から離間して配置されていることを特徴とする定着装置。
【請求項２】
前記静電吸引手段は、絶縁基板と、該絶縁基板上に所定間隔を空けて形成された複数の電極線と、隣り合う電極線間に電圧を印加する手段とを含むことを特徴とする請求項１に記載の定着装置。
【請求項３】
前記静電吸引手段は、前記複数の電極線が、搬送される前記記録材の幅方向に伸びるように配置されることを特徴とする請求項２に記載の定着装置。
【請求項４】
定着ニップ部を構成する加熱部と加圧部とを含み、未定着の現像剤が付着した記録材を前記定着ニップ部を通過させて加熱し加圧することにより、前記未定着の現像剤を前記記録材に定着させる定着装置において、
静電力を発生することにより現像剤が定着した記録材を前記加熱部から分離する静電吸引手段を備え、該静電吸引手段は前記加圧部に一体に形成されていることを特徴とする定着装置。
【請求項５】
前記加圧部は回転可能に軸支され、前記静電吸引手段は、前記加圧部を構成する絶縁層

上に所定間隔を空けて形成された複数の電極線と、隣り合う電極線の間に電圧を印加する手段とを含むことを特徴とする請求項３に記載の定着装置。
【請求項６】
前記複数の電極線は、前記加圧部の回転軸方向における一端から他端に伸びて形成されることを特徴とする請求項５に記載の定着装置。
【請求項７】
定着ニップ部を構成する加熱部と加圧部とを含み、未定着の現像剤が付着した記録材を前記定着ニップ部を通過させて加熱し加圧することにより、前記未定着の現像剤を前記記録材に定着させる定着装置において、
前記加熱部との間に静電グラディエント力を発生させることにより現像剤が定着した記録材を前記加熱部から分離する静電吸引手段を備え、該静電吸引手段は前記加熱部に対向する位置に該加熱部から離間して配置されていることを特徴とする定着装置。
【請求項８】
前記静電吸引手段は、絶縁基板と該絶縁基板上に所定間隔を空けて形成された複数の電極線と、該複数の電極線と前記加熱部との間に電圧を印加する手段とを含むことを特徴とする請求項７に記載の定着装置。
【請求項９】
前記静電吸引手段は、前記複数の電極線が、搬送される前記記録材の幅方向に伸びるように配置されることを特徴とする請求項８に記載の定着装置。
【請求項１０】
定着ニップ部を構成する加熱部と加圧部とを含み、未定着の現像剤が付着した記録材を前記定着ニップ部を通過させて加熱し加圧することにより、前記未定着の現像剤を前記記録材に定着させる定着装置において、
前記加熱部との間に静電グラディエント力を発生させることにより現像剤が定着した記録材を前記加熱部から分離する静電吸引手段を備え、該静電吸引手段は前記加圧部に一体に形成されていることを特徴とする定着装置。
【請求項１１】
前記加圧部は回転可能に軸支され、前記静電吸引手段は、該加圧部を構成する円筒状の絶縁層上に所定間隔を空けて形成された複数の電極線と、該複数の電極線と前記加熱手段との間に電圧を印加する手段とを含むことを特徴とする請求項１０に記載の定着装置。
【請求項１２】
前記複数の電極線は、前記加圧部の回転軸方向における一端から他端に伸びて形成されることを特徴とする請求項１１に記載の定着装置
【請求項１３】
前記加熱部は加熱ローラであることを特徴とする請求項１から１２のいずれか一項に記載の定着装置。
【請求項１４】
前記加熱部は、前記加熱ローラと加熱ベルトとを含む加熱ベルトユニットであることを特徴とする請求項１から１３のいずれか一項に記載の定着装置。
【請求項１５】
前記加圧部は加圧ローラと加圧ベルトとを含む加圧ローラユニットであることを特徴とする請求項１から１４のいずれか一項に記載の定着装置。
【請求項１６】
前記所定間隔は０．１～２ｍｍであることを特徴とする請求項２、５、８、１１のいずれか一項に記載の定着装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】

【発明の名称】定着装置